

2006年を企業家精神での公共部門改革と企業内創業の年に
—— 栃木県経済同友会はイノベーションの推進役に徹しよう ——

株式会社 開倫塾

代表取締役社長 林 明夫

1. 栃木県経済同友会の役割とは

- (1) 政治家ではないが、世界や日本、栃木県のあるべき姿をめざして、企業経営者として自己責任で政策提言を行う「ビジネス・ステーツマン(財界人)」の集まりが栃木県経済同友会であるとする。
- (2) 栃木県経済を震撼させた足利銀行一時国有化も、池田頭取の強烈なリーダーシップの下で、行員の血のにじむような努力と、栃木県経済同友会ははじめ県民の力強いサポートのお陰で、終焉に向かいつつある。
- (3) 今後は「栃木県経済ゼロからの再出発」の気構えで代表幹事の強力なリーダーシップのもと、全会員が心を1つにしてイノベーションの推進役を栃木県経済同友会を目指すべきと考える。

2. 公共部門改革は企業家精神でのイノベーションを

- (1) 問題意識の高い民間からのメンバーとの共同作業で「事業仕分け」を栃木県および市町村で徹底的に行えば、1兆円の県債も膨大な市町村債も10年で半減できると確信する。
- (2) 外郭団体と呼ばれる第3セクターも同様。
- (3) 既存利益をそのまま温存しつつある指定管理者制度の「しくみづくり」も、企業家精神でゼロからやり直すべきだ。

3. 企業家精神で社内創業のためのイノベーションを

- (1) 世界的視野をもって国際競争力のある新製品、新サービスを開発するためにすべての企業はイノベーションに徹するべきだ。
- (2) そのためには、経営トップや幹部が世界的視野でものごとを見、考える能力を身に付けることが不可欠。
- (3) 以上のような「社会的使命(ミッション)」と企業家精神にみちあわれた「志の高い」経営者が切磋琢磨し、励まし合う栃木県経済同友会をつくり上げよう。

— 本年もよろしくお願い申し上げます —